

# 次世代への日本伝統楽器の継承

箏・尺八アンサンブル くらしき1988

## 活動の目的

日本伝統楽器離れ及び楽器そのものを見聞きする機会がなくなった現代において、大切な日本文化のひとつである「和楽器」の継承の危機感を持ちながら、いかに多くの人に気軽に興味を持って見聞きもらうことができるかを考え、当団体ならではの画期的なコンサートを企画開催し、演者もお客様にも楽しんで見聞きしていただくことを目的とした。

## 活動の内容及び経過

平成29年5月7日倉敷市芸文館ホールにて、30周年記念のコンサートは「ありがとう30周年～笑顔と音楽の感謝祭～」と副題をつけ「第30回六ツ森ケイ子&クリスタルサウンドコンサート」を開催。来場者700名。

特別なゲストを招かず当団体とこども太鼓教室と賛助のバンドミュージシャンの力で、30年の間支えてくださったお客様に感謝の気持ちをお伝えしようと出演メンバー一同が一人一人の持つ力をフルに使って練習を重ね、「演奏」「踊り」までこなし。そして友情出演として地元幼稚園・保育園、総勢60名の園児に合唱で出演してもらった和楽器と合唱のコラボレーション「碧い地球のこどもたち」も会場に笑顔と元気を溢れさせた。ステージは和楽器のコンサートでは見ることのないLED照明画像を入れ、舞台を華やかにし、心地よく音が広がるよう音響にも力を入れた。

30年前に現在の形の和楽器と洋楽器のコラボレーションを始めた時は「邪道」等の批判を受けたがそれでも地道に我が道を信じ、一般の人々に和楽器を受け入れてもらえるよう楽曲を作り、演奏し、どうしたら一般のお客様を呼べるかを模索し続けてきた。その結果が今回の「チケット完売」という答えになった。

演目もお客様がこどもから大人までの老若男女なので、この幅広い年代に楽しんでもらえるようみんなが知っている曲も選曲し、会場一体となって歌ったり手拍子したり掛け声を掛けたりしてお客様も出演者の一人として参加していただいたように思う。

## 活動の成果・効果

和楽器の演奏会やコンサートのお客様はほとんどがその愛好者と出演者家族に限られることが多い。その中で当コンサートは一般のお客様がプレイガイドでチケットを購入しておいでくださる。

今回は特別なゲストがいなかったのでどうかと思ったが、根強いファンの方もいてくださり今回もプレイガイドの売り上げが答えとして出たことは非常にありがたいことであった。メンバー一同も一生懸命声掛けをし、会場には満員の



お客様においでいただき（指定席・自由席共に前売り完売）、聴かせるだけではなく、見せることにもこだわったのでアンケート結果を見ても来場者には大変満足していただけたようである。コンサートを終えて感じたことは、ステージだけでなくホールに入るところからの受付、客席、舞台、楽屋等の多くのスタッフ育成を含め、このようなコンサートは一日にして成らず、30年の積み重ねがあつての成功といえるコンサートであった。お客様のマナーも素晴らしく、幼児も沢山いたが演奏の妨げになるようなことも全くなく、こどもの様子をみてもロビーで聞く親子もあり、30年の間にお客様も育ててくれたことを感謝したい。

## 今後の課題と問題点

コンサートでは安定したお客様をつかむことができているので、コンサートだけでなくもっと地元のイベント等で演奏する機会を増やし、「和楽器は楽しい」ことをアピールしていきたいと思う。そして和楽器に携わる人が一人でも多くなるよう努力していきたい。

- 代表者：六ツ森宏朗 ●所在地：倉敷市羽島
- TEL：086-422-6294 ●E-MAIL：info@mutsumori.com
- 設立年：1988年 ●メンバー数：33名